

製品名: MEK7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03944**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:48 kDa;Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K7 MAP2K7; JNKK2; MEK7; MKK7; PRKMK7; SKK4; Dual specificity mitogen-activated protein
別名	kinase kinase 7; MAP kinase kinase 7; MAPKK 7; JNK-activating kinase 2; MAPK/ERK kinase 7; MEK 7; Stress-activated protein kinase kinase 4; SAPK kinase 4; S
遺伝子 ID	5609
SwissProt ID	O14733
免疫原	ヒト MEK7 の合成ペプチド

背景

MKK7 は TNF- α やその他の環境ストレスによって強く活性化されるのに対し、p38 と SAPK/JNK 経路の両方を活性化する SEK1/MKK4 は TNF- α によって活性化されない。MAP キナーゼファミリーメンバーの活性化ループの配列アライメントは、Ser271 と Thr275 がキナーゼ活性に重要なリン酸化部位となる可能性を示唆している。

研究分野

シグナル伝達

画像データ

MEK7 抗体を使用した HeLa 溶解物中の MEK7 のウェスタン ブロット分析。

